











① 事業実施報告書詳細

学校名 三次市立三次中学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返るとともに、まちづくりに参画し、「マチアルキ」を活用したまちガイドについての学習の流れを知る。</li> <li>「塀・壁」「看板・標識」をテーマとして、班ごとに町内の区分けに従って町内探索する計画を立てる。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年での総合的な学習の時間での取組をふり返る中で、まちガイドで地域へ貢献していきたいという思いをしっかりと持った。</li> <li>班で協力しながら探索計画を意欲的に立てていた。</li> </ul>
4	三次町内	<ul style="list-style-type: none"> <li>区分けした町内を、各班で探索し、写真を撮る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画していた以上にさまざまな写真を撮影することができ、楽しく活動できたことに充実感を持つ生徒が多かった。</li> </ul>
3	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影した写真の中で特に良いと思うものを1つ選び、選考理由を説明する。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>一番良いものを選ぶのに、苦労していた班もあったが、協力して選考理由も考えることができた。</li> </ul>

3	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マチアルキ」のコンテンツを作成する。 （コンテンツとして掲載する写真にキャプションとナレーションをつける。）</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきたことを活用したり、普段何気なく見ていたものも見方を変えると違って見えたりすることを素直に表現していた。</li> </ul>
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーのアドバイスをもらい、改善点や活用の仕方などを整理する。</li> </ul>	<p>「マチアルキ」開発担当者の方、みよし観光まちづくり機構の方からのアドバイスをいただき、修正していく点を整理することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生らしい作品になっていることを評価してもらえ、生徒の自信になったようである。</li> </ul>
5	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しや追加などデータを整理して、コンテンツを完成させる。</li> <li>・英語でのナレーションを作成し、追加する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに積極的にアドバイスをもらうなど、英語のナレーションにも意欲的であった。</li> </ul>
3	教室 体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マチアルキ」を使い、まちガイドを実践する。(文化祭での発表)</li> <li>・生徒が相互に評価し、学習を振り返る。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方に自信をもって発表することができた。</li> <li>・他班の作品にも多くの生徒が興味を持ったようである。</li> </ul>

## ② 学習指導案

単元名 (全 時間)	総合的な学習の時間「みよしまちガイド」 (全21時間)
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に自分たちが住んでいる地域の魅力を自ら発見させることにより、故郷に対する愛着と誇りを持たせ、自分から積極的に地域に貢献しようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・まちの魅力をまとめる過程を通して、情報収集・活用能力や読解力を高めさせる。</li> <li>・まちを訪れる方へ「まちガイド」をすることを通して、コミュニケーション能力や協調性、主体性を育てる。</li> </ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちガイドに向け、町内探索の計画を立てる。【課題の設定】</li> <li>2 班ごとに「壁・塀」「看板・標識」の写真を撮影する。【情報の収集】</li> <li>3 一番良いものを選び、タイトルとナレーションを考える。【整理・分析】</li> <li>4 ARアプリのコンテンツにして、「まちガイド」の実践をする。【まとめ・表現】</li> </ol>
参考資料 準備品 実施場所等	デジタルカメラ、タブレットパソコン 三次町内

### 学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「マチアルキ」を活用した「まちガイド」についての学習の流れを知る。</li> <li>○「塀・壁」「看板・標識」をテーマとして、班ごとに町内の区分けを確認する。【課題の設定】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マチアルキ」を活用して「まちガイド」を行うことを確認させる。</li> <li>・テーマをA組は「塀・壁」、B組は「看板・標識」として、生活班の7つで町内を区分けしたものを確認させる。</li> </ul>	<p>※学習の流れを理解し、協力して学習計画を立てている。【ワークシート・観察】</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に、グループが担当する地域を歩き、写真を撮る。(町内探索)【情報の収集】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索する前に、注意点を確認させる。</li> <li>・指導者は集合ポイントに待機し、アドバイスを与える。</li> <li>・撮影した場所を地図に記入させる。</li> <li>・写真は①画面いっぱい被写体を写す②被写体の入った街の風景を写すように指導する。</li> </ul>	<p>※班員で協力し、写真撮影をして情報の収集をしている。【活動の様子】</p>

3	○撮影したものの中で特によいと思うものを1つ選び、 選考理由を説明する。 【整理・分析】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マチアルキ」のコンテンツとすることを意識させ、選考理由を考えさせるとともに、面白さの要素について考えさせる。</li> <li>・選んだ1つ以外のものにも説明文を考えさせる。</li> </ul>	※一番良い写真を選び、選考理由を考えることができる。【写真・ワークシート】
3	○前時までのまとめをもとに、コンテンツとして掲載する写真にタイトルとナレーションをつける。 【整理・分析】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツに掲載する写真、タイトル、ナレーションなどを見た人が分かりやすいように工夫させる。</li> </ul>	※見た人にわかりやすい作品を作成することができる。【ARコンテンツ】
2	○ゲストティーチャーのアドバイスをもらい、改善点や活用の仕方などを整理する。 【情報の収集・課題の設定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マチアルキ」開発担当者の方、みよし観光まちづくり機構の方からのアドバイスをいただき、修正していく点を整理させる。</li> </ul>	※アドバイスを基に改善点等を整理することができる。【ワークシート】
5	○アドバイスをもとに、見直しをし、コンテンツを完成させる。 【情報の収集、整理・分析】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスをもとに、説明内容を再構成させる。</li> <li>・英語でのナレーションを作成させる。</li> <li>・データを整理して、コンテンツを完成させる。</li> </ul>	※修正してARコンテンツを完成させることができる。【ワークシート・ARコンテンツ】
3	○「マチアルキ」を使い、「まちガイド」を実践する。 【まとめ・表現】  ○学習を振り返る。 【振り返り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで発表させ、生徒相互で評価させる。文化祭等を活用し地域の方へガイドを実践させる。</li> <li>・振り返りシートに振り返りを記入させる。</li> </ul>	※「マチアルキ」を使い、まちガイドを実践できる。【発表】

<留意点>

- ・町内探索活動で、生徒の安全を確保するため、集合拠点を設け、教員を待機させる。
- ・これまでの学習や景観を基にしたまちづくりが行われていることを意識させて、写真撮影【情報収集】させていく。

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

本校すぐ近くに、「妖怪」をテーマにした「日本妖怪博物館（もののけミュージアム）」が建設中であり、これを拠点とした官民一体のまちづくりが進められている。また、多くの史跡や古い町並みなど、地域の歴史や文化的魅力が多いまちの特徴があることからこれらを基に、生徒の興味を地域に向かわせるようにした。

また、生徒にとっても身近なツールであるスマートフォン等を活用して、上記の魅力をまとめて伝える「まちガイド」を実践することとした。これらの魅力を紹介するための写真やナレーションを工夫したり、パソコンソフトを使った写真のトリミングなどをおこなったりするなど、生徒が意欲的に取り組めるように工夫した。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

年間指導計画に沿って実施したが、活動の取組時期が夏季休業前後にあったため、町内探索を気温がかなり高い時に行わなければならなくなった。そのため、生徒の体調への配慮や安全への配慮など、綿密な計画が必要になった。町内を細かく区分けし、職員の待機地点を設定し、必ず休憩をとるように指導することとした。

#### (3) 児童の反応

「小さいころからよく見ていたものだけれど、しっかり見ると地域の方の思いがあるんだ。」  
「普段は何とも思わなかったけど、この看板は面白い。」  
「三次町は卯建のあるまちで有名だけれど、よく見るも顔のようにも見えてくる」など、地域の景観やよさを実感することができた。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

総合的な学習の時間の取組として実施したが、担当である学年の教諭間での連携だけでなく、パソコンソフトを活用していくことで技術科の教諭と、英語のナレーションを作成することに関わって英語科の教諭やALTとの連携を図ることができた。多くの教諭と連携を図ることでより深い学習が進められたと感じた。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

今年度は初年度ということもあり、焦点化するために「壁・塀」「看板・標識」をテーマとして、「まちガイド」に取り組んだが、次年度以降は、今年度の1学年・2学年の取組をもとにしたテーマ設定をして継続した取組にしていきながら、ARコンテンツの充実を図っていきたい。